□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 久米 ※
日付	平成19年3月28日
評価機関名	有限会社　アウルメディカルサービス
■評価調査員	： 薬剤師･介護支援専門員 介護経験歴6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（ 改善状況のコメントがあります！） ※

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

（記述式）

職員間の連携もよく、言葉かけをして見守りをより確実にしています。昨年の外部評価を参考にされ、確実に改善できることは習慣付けられていて、前向きな努力をしているグループホームです。入居者から学ぶことも多く、一人一人の意見を尊重し、何とかできないものかと職員同士で相談し合っています。

また入居者と食事や掃除、洗濯物干しなど、出来ることは言葉かけをして了解をとってから一緒に行っています。服薬も最後まで確認し、慌てて飲み込まないように注意しています。

改善の余地があると思われる点（記述式）

･外部との接触機会を増やせば、より地域に根ざしたホームになるのではないでしょうか。

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目：グループホームとしてめざしているものは何か（記述式で回答）

記述回答：「第二の我が家として自分らしい生活をおくることができるように支援します。」と言う理念を掲げ、職員は入居者の健康に十分注意を払いながら、介助にあたっています。

また職員は、入居者の気持ちが明るくなるように、声かけや寄り添いを日々行っています。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目：入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

記述回答：(記述式で回答)

･入居者の要望や意見が出やすいように職員は明るく入居者に声かけしています。

･職員は入居者のペースで仕事を行い、落ち着ける生活環境になるようにしています。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	

記述項目：一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

記述回答：(記述式で回答)

居室の扉にのれんを掛けて直接、中が見えないようにしています。また入居者の写真などを外部に出す時などは、入居者のプライバシーを考慮し、顔を保護するなどの適切な処理をしています。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		○
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元		○

記述項目：サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

記述回答：

･職員は衛生面（ノロウイルス等）に十分気を使っています。また、転倒などの事故を教訓として、部屋のレイアウトを替えるなど、事前に対策をしています。

･認知症の進行防止のため、回想法に取り組んでいます。